

会 員 各 位

(公社)日本医業経営コンサルタント協会
事務局 事業部事業第一課

個人研修（自宅学習）の新規教材の販売開始のお知らせ

個人研修（自宅学習）用教材として、新たに 13 教材（動画配信）を 2 月 12 日（木）より販売を開始しましたので、ご案内いたします。

今回の新規教材は、昨年度および今年度を実施した本部継続研修の一部を収録したものです。

個人研修の履修時間は、本部主催の研修時間として認定されます。医業経営コンサルタントの 1 登録期間内における個人研修の履修認定上限時間数は、必要履修時間数が 100 時間の場合は 50 時間まで、80 時間の場合は 40 時間まで、60 時間の場合は 30 時間までです。

【教材の配信方式】

個人研修の教材は、動画配信方式のみです。なお、平成 26 年 6 月より販売開始の教材より、インターネット回線が繋がっていない場合にも視聴できるよう、ダウンロードができるようになりました。（平成 26 年 5 月以前に販売していた教材はダウンロードできません。）

ダウンロードファイルは mp4 形式です。ダウンロードに関する詳細は、実際の視聴画面でご確認いただけます。

1. 購入方法・履修登録方法等

- ① 協会のホームページ(<http://www.jahmc.or.jp>)から会員専用ページにログインし、「研修情報」→「個人研修」の画面を開き、申込から履修登録までを行います。
- ② 個人研修の研修一覧の中より希望の教材をクリック選択し、申し込みをします。
- ③ 個人研修教材費の支払をし、入金を確認されると、「個人研修入金確認・受講開始通知」メールが送信され(※)、動画受講が可能な状態になります。（個人研修一覧内の「動画配信」ボタンをクリックすることで、受講画面が表示されます。）
(※) 1 週間経過してもメールが到達しない場合は、個人研修一覧のページをご確認ください。
- ④ 履修に当っては、映像内 3ヶ所に記号を挿入してありますので、受講中に会員番号 1 桁目に対応した該当の記号を記録しておきます。（記号の確認方法については、個人研修申込画面にある「個人研修履修確認登録の確認キーについて」をご参照ください。）
- ⑤ 受講後、再度、協会ホームページ・会員専用ページ内の個人研修のページにアクセスし、「未受講」ボタンをクリックし、履修登録の画面で記号を入力し、履修登録をします。
- ⑥ 個人研修は、本部主催の継続研修となります。履修時間は 1 教材につき 2 時間の認定です。（履修上限時間は上記のとおりです。）
- ⑦ 受講と履修登録は、個人研修教材購入後 90 日以内に行ってください。
- ⑧ ⑦の履修登録期限内であれば、履修登録後でも、その講座を再度視聴することが可能です。

2. 価格

個人研修受講料：一教材（2 時間）につき 2,000 円（消費税込み。振込手数料はご負担ください。）

3. 協会ホームページ「会員専用ページ」へのログイン方法

当協会本部事務局までお問合せください。

4. その他

- ・個人研修の教材は、過去に協会本部で開催した継続研修の講義内容です。（一部、支部ビデオ研修として使用されていた内容もあります。）実際の研修を受講済みでも、個人研修として再受講することが可能です。
- ・教材は、個人研修を受講される会員の方のみの視聴に限ります。また、個人研修以外の目的での使用を禁止しています。

平成 27 年 2 月 12 日 新規販売開始 個人研修教材 (13 教材)

教材 No.	研修ステージ (収録日)	教材名・講師 (講師肩書きは収録当時のものです)
S2014030	セカンドステージ (H26-09-30)	<p>「医療機関の財務管理」 第 1 部～コストマネジメント 設備投資～ 石尾公認会計士事務所 所長、公認会計士 石尾 肇</p> <p><概要> 本講座では、医療機関における財務管理に関するテーマのうち、コストマネジメント及び設備投資を取り上げ、これらテーマにおける医療機関特有の事情を踏まえた上で、基本的な考え方、分析手法等を概説し、管理の具体的なポイントを検討する。</p>
S2014031	セカンドステージ (H26-09-30)	<p>「医療機関の財務管理」 第 2 部～資金管理 財務的側面からのマネジメント～ 石尾公認会計士事務所 所長、公認会計士 石尾 肇</p> <p><概要> 本講座では、医療機関における財務管理に関するテーマのうち、資金管理及び財務的側面のリスクマネジメントを取り上げ、これらテーマにおける医療機関特有の事情を踏まえた上で、基本的な考え方、分析手法等を概説し、管理の具体的なポイントを検討する。</p>
T2014019	セカンドステージ (H26-08-20)	<p>「コミュニケーションの改善は、経営改善の第一歩」 医療法人 A&D 理事長 諸井 英徳</p> <p><概要> 1998 年 6 月、当時、一日来院者数が 12～15 名程度、一ヶ月のレセプト枚数が 150 枚程度だった諸井歯科クリニックが、2000 年 6 月にレセプト 450 枚、一日来院者数 40 名に変化し、さらには翌年の 6 月レセプト 800 枚、一日来院者数 90 名へと急速な変化を遂げた。その原動力は、まさに「コミュニケーション」の改善だった。具体的な事例を交えながら、来院者の心理、来院動機について考察したい。</p>
T2014022	セカンドステージ (H25-07-17)	<p>「在宅歯科の現状と参入の留意点について」 当協会歯科専門分科会 会長/(株)M&D 医業経営研究所 代表取締役 認定登録 医業経営コンサルタント 木村 泰久</p> <p><概要> 高齢化によって変化している歯科医療の環境を解説したうえで、在宅歯科の現状、地域包括ケアシステムとの関係について解説する。さらに、在宅歯科を開始するにあたって整備すべき用具や体制づくりを解説する。</p>
T2014023	セカンドステージ (H25-07-17)	<p>「私と地域の在宅医療」 医療法人社団慈風会 在宅診療敬二郎クリニック 院長 三宅敬二郎</p> <p><概要> 外科医と在宅医の二足の草鞋を捨て、平成 19 年 9 月に香川県初の在宅診療専門クリニックを開設した。地域貢献の理念に基づき 24 時間 365 日体制を継続してきた結果、同じ志を持つ職員も増え 6 年目にして少しゆとりの持てる体制となった。当院でのこれまでの経験と地域の現状や在宅医療の魅力を紹介する。</p>
T2014024	セカンドステージ (H25-07-17)	<p>「在宅医療におけるチームケアの実践 ～効率化、情報連携、教育への ICT 活用～」 医療法人社団プラタナス 桜新町アーバンクリニック 院長 遠矢純一郎</p> <p><概要> 超高齢化社会の医療介護問題に期待される在宅医療には、認知症、がん緩和ケア、終末期医療、看取りなど、様々な課題が存在する。スマートフォンやクラウドを用いた低コストで実践的な ICT 活用による情報共有や効率化、地域連携、介護者教育などの実際を紹介する。</p>

教材 No.	研修ステージ (収録日)	教材名・講師 (講師肩書きは収録当時のものです)
T2014025	セカンドステージ (H25-07-18)	<p>「病院情報システムの構築とデータの活用について」 岐阜大学大学院医学系研究科医療情報学分野 教授 認定登録 医業経営コンサルタント 紀ノ定保臣</p> <p><概要> これまで段階的に構築してきた病院情報システムをトータル・システムとして再考する。また、経営戦略マップのなかに情報システムの機能と役割を明示し、戦略的な情報システムの構築と運用が医療機関の経営強化と医療の質保証につながることを明らかにする。</p>
T2014026	セカンドステージ (H25-07-18)	<p>「医療機能、病床機能の可視化に向けた取組について」 岐阜大学大学院医学系研究科医療情報学分野 教授 認定登録 医業経営コンサルタント 紀ノ定保臣</p> <p><概要> 各種の医療機能や病床機能を可視化するための技術と手法について解説する。また、このような各種データを積極的に分析・活用しようとする組織には I SMS (情報セキュリティ・マネジメント) の実践が求められる。I SMS の実践に向けた組織作りについても併せて紹介する。</p>
T2014027	セカンドステージ (H25-07-19)	<p>「DPC/PDPSの概要と経営改善への応用」 当協会 企画広報部長、認定登録 医業経営コンサルタント 医業経営管理士 田中 豊章</p> <p><概要> まず、平成24年度DPC/PDPSの改定概要から次回改定予定の内容も含めて説明する。また、公表されているDPCデータの分析手法の説明、その分析結果を基にどのように医療機関へのコンサルティングに活用するのか、ある地区での事例を示し解説する。</p>
T2014028	セカンドステージ (H25-07-19)	<p>「DPC/PDPS病院としての医療の質に基づく病院経営～DPCデータの分析と臨床指標の活用～」 (公財)脳血管研究所附属美原記念病院 院長 美原 盤</p> <p><概要> 医療機関群(基礎係数)や機能評価係数Ⅱは、マクロ的には病院機能分担やその機能(役割)における各病院の実績を評価するものであり、ミクロ的には経済的インセンティブとなっている。すなわち、自院の機能を適切に評価した上で、臨床的な質を向上させることによって財務的な質向上につなげられるような病院運営の実践が求められる。</p>
T2014029	セカンドステージ (H25-08-21)	<p>「歯科診療所の経営改善対策と改善事例」 当協会歯科専門分科会 会長/(株)M&D 医業経営研究所 代表取締役 認定登録 医業経営コンサルタント 木村 泰久</p> <p><概要> 歯科診療所の経営改善対策の手順を解説し、実際の改善事例を3～4件解説する。小規模歯科診療所と大型診療所の事例を紹介する。</p>
T2014030	セカンドステージ (H25-08-21)	<p>「診療所収益改善事例紹介」 (株)MMP 代表取締役 認定登録 医業経営コンサルタント 鈴木 竹仁</p> <p><概要> 1. 財務データと患者データをリンクして現状分析: 患者数×通院回数×平均点数=収入、2. 問題点の確認: 増患、増点、スタッフのレベルアップ、コストダウン、3. 院内ミーティングを活用した改善事例: 実践事例紹介</p>

教材 No.	研修ステージ (収録日)	教材名・講師 (講師肩書きは収録当時のものです)
T2014031	セカンドステージ (H25-08-21)	<p>「病院の収益改善取組事例について」 (株)榎コンサルタントオフィス 代表取締役 認定登録 医業経営コンサルタント 榎 孝悦</p> <p><概要> 医業経営環境が厳しいといわれる今日においても、利益率等の目標を定め、達成の為に努力している病院は多いとは言えない。また、収益改善に真剣に取り組む契機は、銀行等の外圧を受け緊急性が求められる事態が多い。しかし、収益改善取組みの方法も結果も一様ではない。収益改善取組の3事例を示し、話題提供する。</p>

※ 現在、上記新規販売教材以外に、既存の教材として動画配信が66教材あります。

継続研修に関するお問合せ先：(公社)日本医業経営コンサルタント協会
事業部事業第一課 TEL:03-5275-6993(研修・履修認定係直通)

[代表]フリーコール:0088-21-6996/TEL:03-5275-6996 Eメールアドレス:kensyu@jahmc.or.jp